

# 柳井 お店お薦めのお店



柳井市内の飲食店など12事業者が、他店の魅力をカードに掲載して紹介し合う取り組みを24日から始める。新型コロナウイルス感染拡大の影響で地場企業が経営不振に陥る中、よその店のことをよく知る他店の店主が魅力を顧客に直接PRすることで地元飲食店の利用を促そうとの試みだ。

## 12店、カードで紹介

柳井市内の飲食店など12店舗が参加。金魚をあしらったばがき大のカードの片面は自店のPRで、もう片面は店主が自信を持って薦める他店を写真入りで各2店舗紹介。単なる店

飲食店やしょうゆ蔵のほか、和・洋菓子店、ホテルなど12店舗が参加。金魚をあしらったばがき大のカードの片面は自店のPRで、もう片面は店主が自信を持って薦める他店を写真入りで各2店舗紹介。単なる店

取り組みは「びきんぎよづきあい事業」と名付けた。柳井の夏の風物詩「金魚ちようちん祭り」にちなみ、向こう三軒西隣のような親しい関係になればとの期待を込めた。発案者は市民団体「白壁の町並みを守る会」の高杉政章さん(36)。中心市街に活気を取り戻したいと昨春、2店主に事業化を提案した。

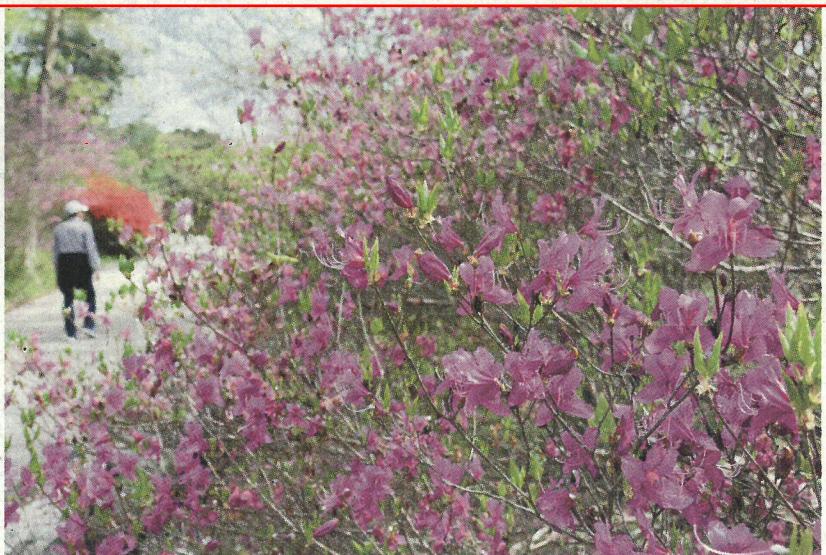
事務局の高杉さんは「情報誌やネット情報ではなく、各店主が他店の名物商品や魅力をPRし合うことで店主同士の絆を強め、顧客とのぬくもりあるつながりになれば」と期待する。昨春から企画に携わった文具店「木阪泰之社長(57)は、「コロナの影響でテークアウトに切り替え奮闘している飲食店もある。地元に愛される店舗の連帯になれるように踏ん張っていきたい」と話す。

高杉さんは市の店舗に加盟を呼び掛けている。参加料は、はがきのデザインや印刷代で1万円が必要。問い合わせは高杉さん(電話090-6838・8590)へ。(湊孝典)

「店主とお客様の絆が強まり、ぬくもり感ある人の輪が広がれば」と話す事業発案者の高杉政章さん(21)日、柳井市

店舗の魅力を客に直接伝えることで、他店に来店した際には会話をきっかけになればとの思いもある。各店舗千枚を作った。

## 江汐公園 見頃です



見頃を迎えたコバノミツバツツジ(手前)とキリシマツツジ=21日、山陽小野田市

山陽小野田市高畠の江汐公園で、ツツジが見頃を迎える。5月上旬ごろまで楽しめそう。

ツツジが赤色の花で園路を彩っている。コバノミツバツツジが薄紫色、キリシマツツジが赤色の花で園路を彩っている。コバノミツバツツジが広がる。間もなくヒラドツツジの赤や白、ピンク色の花も見頃を迎える。

今年は新型コロナウィルス感染症対策で、つづじまつりが中止になり、園内の管理棟やテニス場、キャンプ場、冒険の森も5月10日まで閉鎖中。ただ、小中学校の臨時休校や他の施設の

臨時休止などを実施する。公園の管理者は例年よりもいる。

## 周南の古川跨線橋 6月30日から撤去工事